

# 新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京 浜 河 川 事 務 所  
新 横 浜 出 張 所 発 行  
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3  
2 0 1 1 年 0 7 月 1 1 日【第 1 6 号】

## 鶴見川流域センターで『水マスフェア』を開催 約480名が来場



開会式の様子

平成23年6月18日(土)流域の防災・自然環境等についてふれあい、学ぶ『水マスフェア』が開催されました。

その1つのプログラムとして、そして鶴見川多目的遊水地の運用開始8周年を記念して、多目的遊水地の見学会と鶴見川で魚とりを行いました。

ここでは、アユ、モクズガニなどの生き物観察も行っていきます。

室内では、人形劇などを楽しんで頂き、日産スタジアム・新横浜公園見学ツアーなど新しい取り組みも行われ、約480名の方が来場し、鶴見川の水害の歴史、鶴見川の生き物を含めた環境などを学ぶ機会になりました。



鶴見川のオリジナル人形劇



鶴見川での魚とり

## 台風 ゲリラ豪雨に備え ケイヒンモバイルをゲットしよう

京浜河川事務所では持っている河川の水位や流域の雨量データなどを集約して見られる携帯電話専用情報サイトのことを「ケイヒンモバイル」と呼んでいます。

このほかにも、パソコンでは京浜河川事務所のHPより多摩川・鶴見川・相模川に関する、リアルタイムの水位・雨量情報や河川監視カメラ映像、洪水ハザードマップ、浸水想定区域図など各種防災情報を見ることが出来ます。

電話による自動音声応答での「水位・雨量・浸水情報等」(携帯電話や公衆電話からも聞くことが出来ます)。ファックスでの情報受信が出来ます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>



現在のケイヒンモバイル(携帯)の提供画面はこのようなになっています。

現在のメニューから、3河川の主要地点の河川監視カメラ画像がリアルタイムで(静止画です)見る事が出来ます。水位、雨量、浸水情報などが見られます。レーダ雨量計の画像を見ることが出来ます。

気象庁が発する、気象警報・注意報が見られます。

さらに、マルチコールに登録すると3河川の水位・雨量が規定値を超えると、その情報を受信することが出来ます。

その他、KeihinKids(ケイヒンキッズ)という子供向けサイトへもリンクしております。

# 鶴見区駒岡5丁目の2つの工事(堤防補強・河川敷道路)が完成しました



補強された堤防と道路

横浜市鶴見区駒岡 5 丁目地先では、2箇所ですべて堤防補強工事と河川敷道路工事が行われていました。

先般の大地震の影響で工事の完成が遅れていましたが、堤防上の道路は、4月11日から開放し、河川敷道路も6月15日完成しました。

この河川敷道路は、駒岡防災船着場に大型車両が入れるようにするためのもので、今回の工事で鷹野人道橋の下流側まで施工を行い、残りの区間も出来るだけ早く施工したいと考えています。

沿川の皆さんや大曲広場を利用される皆さんには、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

# 鶴見川ゴミマップ(H22年度)をホームページで公表しています

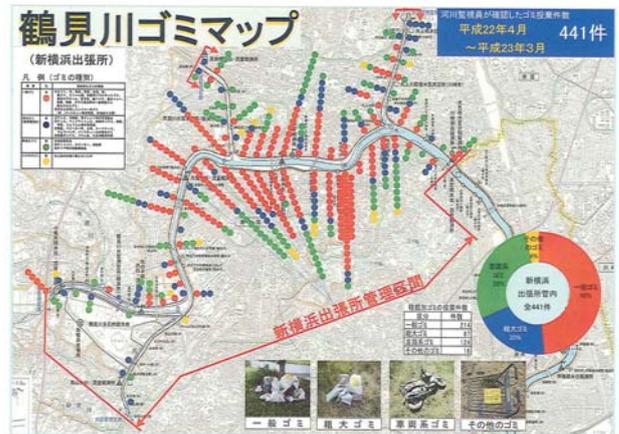
京浜河川事務所では、河川に不法投棄されたゴミを収集・処分しています。

このゴミの収集・処分にはお金がかかっており、その費用はみなさんの税金から支払われています。河川へのゴミの投棄がなければ、必要のないお金です。

河川のゴミ投棄の実態をみなさんに知っていただくために、鶴見川等で行っている河川巡視で確認したゴミの場所を地図にしました。

みんなが気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを持ち帰るようにしましょう。

(右図面が鶴見川ゴミマップ)



鶴見川ゴミマップ(新横浜出張所管内)

## あ と が き

今年は、節電対策で皆さん大変ですね。

私も通勤電車や職場で仕事をするときに、クールタオルを首に巻いて暑さ対策をしています。

今回は、台風やゲリラ豪雨に備えて、京浜河川事務所で行っているケイヒンモバイルについて、紹介させて頂きました。是非、活用してください。

また、鶴見川に捨てられているゴミについて、まとめたものを紹介させて頂きました。(ゴミマップ)

ゴミの収集や処分は、皆さんの税金で行われています。

特に、河川内に自転車やバイクが捨てられています。水の中からそれらを引き上げるのは大変です。

河川敷に捨てられているゴミは、1~2ヶ月に1回、回収しています。

河川堤防や河川敷道路は、バイク禁止だつて!!



# 鶴見川流域センターに年間約24,000人が

JR小机駅の近くにある、地域防災施設鶴見川流域センターは、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

平成22年度の来場者は、15年9月のオープン以来最高となる24,013人となりました。

今年度に入っても来館者数は多く、4月~6月までの3ヶ月で7,525人が来館しています。

今月中旬からは、例年夏休みの自由研究などに取り組む小学生なども多くなります。

当センターには、防災情報だけでなく、鶴見川の水質や生き物などの資料もそろっています。

是非、来館して多くのことを学んでください。

また、夏休み向けの催し物も数多く行っています。当センターにお問い合わせください。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)